



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 河野 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 高工 弘

TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	2,865	△13.9	△107	—	△58	—	△20	—
26年3月期第3四半期	3,329	△20.6	△176	—	△195	—	△226	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 173百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △192百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△2.21	—
26年3月期第3四半期	△23.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	3,763	1,346	35.8	141.87
26年3月期	4,415	1,172	26.6	123.57

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,346百万円 26年3月期 1,172百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	0.00	0.00	0.00
27年3月期	—	—	0.00	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	△3.8	10	—	40	—	90	—	9.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社東京製粉機製作所
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	9,502,636 株	26年3月期	9,502,636 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	14,200 株	26年3月期	14,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	9,488,436 株	26年3月期3Q	9,488,436 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)の世界経済は、米国では雇用者数の増加や個人消費の回復により、緩やかな景気拡大が継続した一方、南米では経済活動が低迷し、成長見通しも低下傾向となりました。債務危機長期化による景気低迷からの脱却が課題だった欧州では、依然として景気浮揚のきっかけを見いだせず、足踏みの状態が続いています。アジアでも、政情不安などによりタイを中心に景気が低迷しているほか、中国経済の成長ペースも減速傾向を強めるなど先行き不透明な状況が続いています。

国内経済は、政府・日銀による金融緩和政策により円安・株価上昇が進み、全体として緩やかな回復基調にあったものの、消費増税後の個人消費の回復遅れが企業業績に影響し、経済成長の停滞が予想されるなど、依然として厳しい状況が続いています。

当社の主要な得意先業界であります製粉業界では、外国産小麦の政府売渡価格が4月から5銘柄平均(税込価格)で2.3%引き上げられたことに伴い、7月から業務用小麦粉の販売価格が改定されました。副製品のふすまは好調な市況を背景として堅調推移したものの販売環境の影響には留意していく必要があります。

飼料業界は主原料である米国産とうもろこしは底堅い価格で推移し、大豆粕相場は軟調に推移しました。一方で為替相場は円安に推移しました。配合飼料の値上げを行ったものの依然厳しい事業環境にありました。

このような中、当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS(顧客満足)を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストダウンならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。

しかしながら、当社グループの連結売上高は、受注競争激化による受注の伸び悩みや顧客の設備投資の先送りなどがあり、小規模飼料プラント工事物件の売上などはありましたが、2,865百万円(前年同四半期比13.9%減)となりました。

また、損益面に関しましては、売上高減少などの影響を受け、営業損失107百万円(前年同四半期は営業損失176百万円)、経常損失58百万円(前年同四半期は経常損失195百万円)となり、特別利益の保険解約益を加減して、四半期純損失20百万円(前年同四半期は四半期純損失226百万円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より、産業機械関連事業に含めて記載していた太陽光発電事業の売上高に係る量的な重要性が増したため、報告セグメントの区分については、当該事業を独立して記載する方法に変更しております。

#### 〔産業機械関連事業〕

当社グループは、厳しい事業環境のもと受注・売上確保のために積極的な営業活動を展開し、売上の主要なものとして、圧扁設備ドライヤークレーン更新工事、鶏豚ペレット・クレーン更新工事、有葉マッシュバラ出荷設備などの各種製粉・飼料設備工事のほか、その他主力製品のロール機、シフター、精選諸機械などの売上があったものの、売上高は2,749百万円(前年同四半期比16.6%減)と前年同期に比べ減少いたしました。損益面に関しましては、プラント工事のほか予算管理の徹底、経費削減などに努めましたが、売上高減少により営業損失113百万円(前年同四半期は営業損失204百万円)となりました。

#### 〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高34百万円(前年同四半期比5.4%増)、営業利益29百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### 〔太陽光関連事業〕

太陽光関連事業については、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度(FIT)の見直しが行われる等、厳しい事業環境のもと受注・売上確保のために積極的な営業活動を展開し、売上高は81百万円、営業損失23百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産・負債・純資産に関する状況

##### 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,763百万円となり、前連結会計年度末に比較して652百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が737百万円、棚卸資産が78百万円減少したことなどによるものであります。

##### 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は2,416百万円となり、前連結会計年度末に比較して826百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が243百万円及び長期借入金が470百万円減少したことなどによるものであります。

##### 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は1,346百万円となり、前連結会計年度末に比較して173百万円増加

いたしました。これは主に、利益剰余金が20百万円減少したのに対し、その他有価証券評価差額金が174百万円、為替換算調整勘定が7百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結損益状況につきましては、売上高は4,300百万円、営業利益は10百万円、経常利益は40百万円、当期純利益は90百万円を予想しており、平成27年3月期第2四半期決算短信(平成26年11月11日開示)に記載した内容と変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成26年8月1日付で、当社を存続会社、当社の完全子会社である株式会社東京製粉機製作所を消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、株式会社東京製粉機製作所を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,288,448	551,058
受取手形及び売掛金	797,511	778,035
商品及び製品	77,649	60,259
仕掛品	297,580	248,820
原材料及び貯蔵品	68,109	56,205
その他	77,976	77,233
貸倒引当金	△531	△3,240
流動資産合計	2,606,745	1,768,374
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	166,656	162,812
機械装置及び運搬具(純額)	51,895	52,367
土地	927,218	927,218
その他(純額)	47,858	52,039
有形固定資産合計	1,193,628	1,194,436
無形固定資産		
その他	47,593	45,163
無形固定資産合計	47,593	45,163
投資その他の資産		
投資有価証券	449,451	707,516
その他	157,941	86,994
貸倒引当金	△39,425	△39,425
投資その他の資産合計	567,967	755,084
固定資産合計	1,809,188	1,994,685
資産合計	4,415,934	3,763,059
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	972,560	981,038
短期借入金	434,491	191,160
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	8,829	8,994
前受金	261,549	59,801
賞与引当金	16,153	13,221
工事損失引当金	—	1,081
その他	79,636	95,854
流動負債合計	1,793,219	1,371,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	50,000	40,000
長期借入金	919,860	449,100
退職給付に係る負債	216,214	214,044
資産除去債務	19,698	19,698
その他	244,421	322,900
<b>固定負債合計</b>	<b>1,450,195</b>	<b>1,045,743</b>
<b>負債合計</b>	<b>3,243,414</b>	<b>2,416,895</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,605,733	1,605,733
利益剰余金	△455,135	△476,070
自己株式	△8,941	△8,941
<b>株主資本合計</b>	<b>1,141,655</b>	<b>1,120,721</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27,030	147,949
為替換算調整勘定	73,678	81,439
退職給付に係る調整累計額	△15,784	△3,946
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>30,863</b>	<b>225,442</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,172,519</b>	<b>1,346,163</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,415,934</b>	<b>3,763,059</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,329,523	2,865,211
売上原価	2,855,809	2,389,154
売上総利益	473,714	476,057
販売費及び一般管理費	650,365	583,911
営業損失(△)	△176,651	△107,854
営業外収益		
受取利息	1,450	3,222
受取配当金	6,208	1,179
負ののれん償却額	3,562	—
償却債権取立益	—	37,110
その他	18,790	24,074
営業外収益合計	30,012	65,587
営業外費用		
支払利息	22,245	13,622
持分法による投資損失	9,189	—
為替差損	1	32
その他	17,493	2,591
営業外費用合計	48,929	16,246
経常損失(△)	△195,568	△58,513
特別利益		
投資有価証券売却益	52,348	—
保険解約益	—	50,433
子会社清算益	4,650	—
特別利益合計	56,998	50,433
特別損失		
固定資産売却損	—	190
課徴金	82,710	—
特別損失合計	82,710	190
税金等調整前四半期純損失(△)	△221,279	△8,271
法人税、住民税及び事業税	16,725	7,932
法人税等調整額	△11,020	4,731
法人税等合計	5,705	12,663
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△226,984	△20,934
四半期純損失(△)	△226,984	△20,934



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△226,984	△20,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,461	174,980
為替換算調整勘定	48,573	7,760
退職給付に係る調整額	—	11,838
その他の包括利益合計	34,112	194,579
四半期包括利益	△192,872	173,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192,872	173,644
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	不動産 関連事業	太陽光関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,296,343	33,180	—	3,329,523	—	3,329,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	571	—	571	△571	—
計	3,296,343	33,752	—	3,330,095	△571	3,329,523
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△204,277	27,626	—	△176,651	—	△176,651

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	産業機械 関連事業	不動産 関連事業	太陽光関連 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,749,240	34,961	81,009	2,865,211	—	2,865,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,749,240	34,961	81,009	2,865,211	—	2,865,211
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△113,646	29,214	△23,423	△107,854	—	△107,854

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間から、従来「産業機械関連事業」に含めておりました「太陽光関連事業」について

金額的重要性が増したため報告セグメントとして区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。